

北海道の自然資源「雪」を通じた環境教育

As Environmental Education by Snow As a Natural Resource in Hokkaido

尹 春英^{1*}, 古川雄大¹, 中村 一樹², 山中 康裕², 田中大介³

Chunying Yin^{1*}, Yuta Furukawa¹, Kazuki Nakamura², Yasuhiro Yamanaka², Daisuke Tanaka³

¹ 北海道大学大学院環境科学院, ² 北海道大学大学院地球環境科学研究院, ³ (株) 星野リゾート・トマム

¹Graduate School of Environmental Science, Hokkaido University, ²Faculty of Environmental Earth Science, Hokkaido University, ³Hoshino Resort Tomamu

北海道大学と星野リゾート・トマムは、冬期間作られるアイスビレッジで、氷と雪の研究室「氷のラボ」を共同運営している。トマムがある占冠村は21世紀の日本最低気温 35.8 を記録し、アイスビレッジはその寒さを利用している。ここでは、観光と環境の組み合わせた持続可能な観光づくりを目的に、2011年12月から行っている「氷のラボ」での次の3つの実践について報告する：(1) トマムの雪や寒さに対する観光客の学び、(2) 地元の雪と寒さの魅力を見直す、地域の子供たちの学び、(3) 氷のラボの運営に関わることによる大学院生の学びである。

(1) トマムの雪や寒さに対する観光客の学び

氷のラボでは、写真に示すような雪の結晶ストラップ「づくり」の体験を提供している。雪の結晶ストラップは、雪の結晶を包むように液体の光硬化樹脂を流し、結晶が溶けないような低温条件下で、光を当てて樹脂を硬化させて製作する。これは研究者レベルではよく知られた方法だが、研究者ではない多数の方々が行うことは、世界初の試みである。お客さまが雪の結晶を採取する過程で、雪の結晶の形や大きさが多種多様であること、薄い雪雲が通過しただけで降ってくる雪の結晶が変わること、きれいな雪の結晶が全く出来ないこともあること、などをまさに感じるようになる。体験自身は無料しており、(室温に戻るとともに溶けてしまっただけで無くなってしまった)お客さまが目で見ても動かした世界でたった一つの結晶の証(レプリカ)を持ち帰るとき、雪の結晶ストラップとして有料で持ち帰ることが出来る。環境教育としてのこのコンセプト作りに1年間を要した。

また、「雪は天からの手紙」の言葉で知られる北大の中谷宇吉郎教授の伝統を引き継ぐ菊地勝弘北海道大学名誉教授の「雪の結晶」写真パネルの展示や、ほぼ毎週開かれる北海道大学教授らのトーク(サイエンス・アイスカフェ)なども行っている。

(2) 地元の雪と寒さの魅力を見直す、地域の子供たちの学び

占冠村の小学生と中学生が地元の雪や寒さの価値を学べるように、昨年冬から「雪の学校」を行っている。日中営業していないアイスビレッジの施設を利用し、「雪の中で宝探し」、「積雪深の測定」、「雪の結晶の観察」、「雪の結晶のレプリカづくりの体験」などにより、降雪と積雪を観察し、雪の性質を楽しみながら学べるようになっていく。また、占冠の雪と地元の生活とを結びつけて、雪は大切な水資源及び観光資源であると認識できるプログラムとなっている。雪と寒さという地元の資源に誇りを持つきっかけとなることが狙いである。

(3) 氷のラボの運営に関わることによる大学院生の学び

北海道大学大学院環境科学院実践環境科学コースの学生は、各自の実践的な研究に加え、環境教育のプログラムの展開により、問題の発見力や課題の解決力などを身に付けるような実践活動を行っている。実践的な活動と研究の一例として、海外からの観光客に雪や寒さについて理解していただくために、氷のラボで日本語のほか英語、中国語に翻訳したパネルを用意し、大学院生が観光客へ説明を行う活動を行っている。同時にヒアリングも行い、展示や説明の改善を行っている。これらの取り組みを通じて、「氷と雪」という自然現象の面白さを通じて、観光の中で積雪寒冷地の自然環境を学んでもらうということが実現できた。今後も今回の取り組みを踏まえて、プログラムの改善を図っていく予定である。

この取り組みを行うにあたり、協力していただいた(株)星野リゾート・トマム、占冠村、北海道大学関係者に感謝申し上げます。

キーワード: 雪, 観光, 環境教育, 実践教育

Keywords: snow, sightseeing, environmental education, practical learning

G04-08

会場:202

時間:5月20日 11:00-11:15

